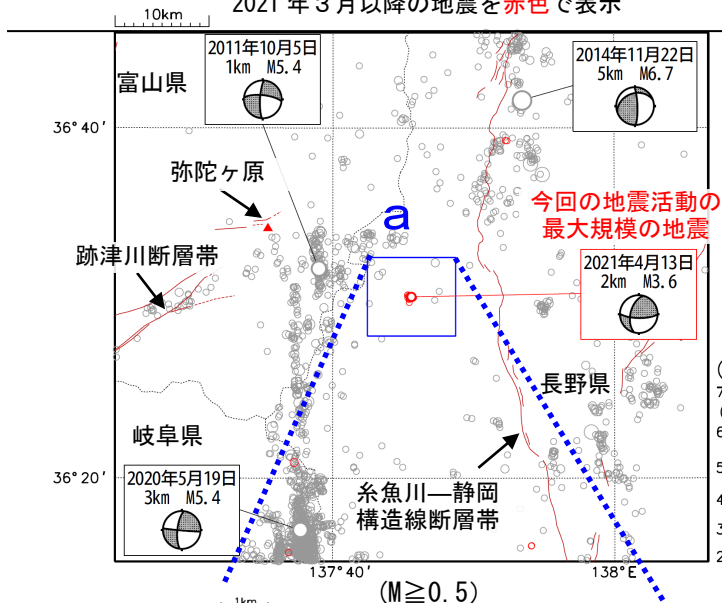


## 長野県北部の地震活動

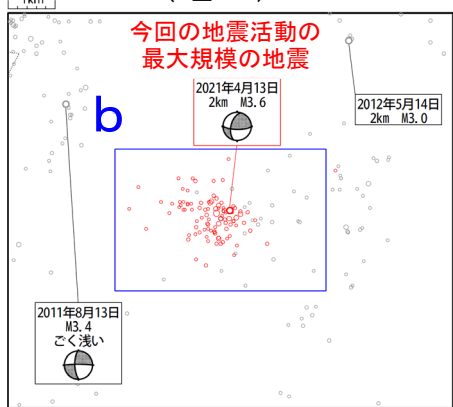
震央分布図  
(1997年10月1日～2021年4月30日、  
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$ )  
2021年3月以降の地震を赤色で表示



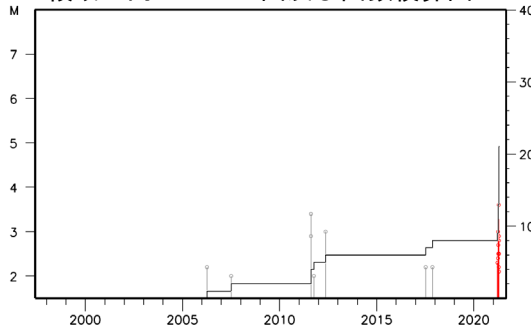
2021年3月21日から4月18日にかけて長野県北部の領域bで震度1以上を観測する地震が、3月中は5回（最大震度2：3回、最大震度1：2回）、4月中は15回（最大震度3：1回、最大震度2：5回、最大震度1：9回）発生した。いずれの地震も地殻内で発生した。このうち最大規模の地震は、4月13日22時53分に深さ2kmで発生したM3.6の地震（最大震度3）である。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM2.0以上の地震が時々発生している。なお、2011年10月5日にはM5.4の地震（最大震度3）が、領域aの西側で発生している。

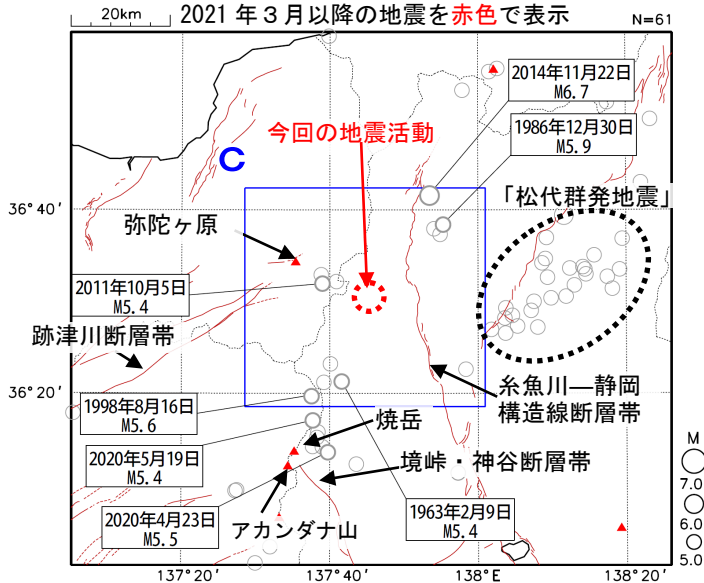
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM5.0以上の地震が時々発生している。2014年11月22日にはM6.7の地震（最大震度6弱）が発生しており、負傷者46人、住家全壊77棟などの被害を生じた（総務省消防庁による）。



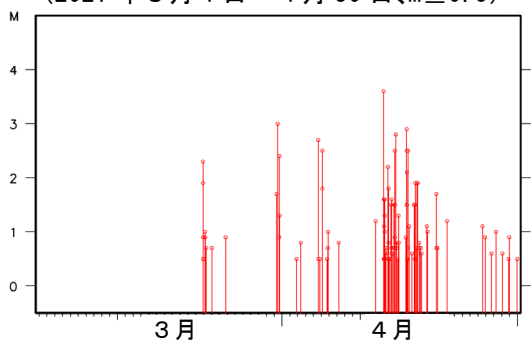
領域a内のM-T図及び回数積算図



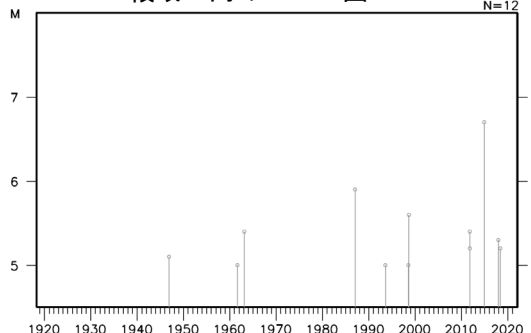
震央分布図  
(1919年1月1日～2021年4月30日、  
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$ )  
2021年3月以降の地震を赤色で表示



領域b内のM-T図  
(2021年3月1日～4月30日、 $M \geq 0.5$ )



領域c内のM-T図



震央分布図中の▲は活火山を示す。

茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。